

備前市事務事業評価表

(平成17年度事業)

事務事業名	災害見舞金給付事業		コード	福祉事務所障害者福祉係
			02-01-03-05	担当者 田中淳一
事業実施期間	平成17年4月1日～平成18年3月31日			
総合計画 事業（政策）体系	大項目	健康でやさしさあふれるまちづくり		
	中項目	やさしさあふれるまちづくり		
	小項目	障害者（児）福祉		
	施策	交流の推進と組織づくり		

事業について	
目的	災害救助
対象 (誰のために)	災害被災市民
内容	災害見舞金の支給及び災害避難市民の援護

事業の結果	
実施項目	17年度
	回数など (単位)
災害見舞金支給件数	3 件
台風吹き出し代	2 件

事業費 (単位：千円)	事業費		財源		事業費		財源	
	直接事業費	70	国庫補助金等		直接事業費		国庫補助金等	
	人件費	1,930	受益者負担		人件費		受益者負担	
	合計	2,000	一般財源等	2,000	合計	0	一般財源等	0

必要人員	0.21	人
結果指標名	災害見舞金支給件数	
結果指標量	3	
単位	件	
対前年比	—	
事業費	2,000,000	円
単位当たりコスト①	666,667	円

結果指標名	災害見舞金支給件数	
結果指標量	3	
単位	件	
対前年比	—	
事業費		円
単位当たりコスト②		円

事業の成果	
成果指標名	災害見舞金支給件数
式又は説明	
成果指標量	17年度
	3
対前年比	—
到達目標値	到達目標年度

事務事業の評価		課題認識
目的・対象・内容の妥当性評価	目的の妥当性	支給対象者に漏れない様に注意を図る。
	対象の妥当性	
	市民ニーズの妥当性	
市の関与の妥当性	市の関与の妥当性	
	市民ニーズの妥当性	
効率性の評価	コストの効率化	支給要綱に定める基準に沿った支給を行っている。
	手段の最適化	
	職場の効率化	
有効性の評価	目的達成度	災害被害を受けた住民の援護と奮起を促す。
	成果向上の可能性	
	市民参画度	

総合評価	
コメント	災害被害を受けた住民の援護と奮起を促すために必要な事業である。
評価区分	<A~E>
	B

今後の方向性	
<input type="checkbox"/> さらに重点化する(行政資源を集中的に投入する)	<input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する
<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続する	<input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する
<input type="checkbox"/> 見直しのうえで継続する	<input type="checkbox"/> 完了・統合
翌年度結果指標量①	結果指標量②
目標値	成果指標量

改善事項			
評価の視点	改善内容	改善時期	改善により期待される効果

事業の目的、対象、内容を考えながら目的の妥当性の評価を行って下さい。

事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい。

事業の目的やその数値目標である結果指標に留意しながら有効性の評価を行って下さい。